

本社：京都市南区西九条東比永町75番地
GRAND KYOTO 3F
TEL.:075-693-7107
https://www.ishida.co.jp
グループ従業員数：3,805名(単体：1,559名)
※2020年6月21日時点
創業：1893年5月 設立：1948年10月
主な事業内容：計量、包装、検査等、これらの技術をベースにした製品の開発と製造、販売、保守に関わる業務全般。

『イシダには 様々な職種が あります』

開発設計

お客さまのご要望をお聞きし、さまざまな技術を組み合わせ、「今、欲しいもの」「あったら便利だな、と思うもの」を設計、開発する職種です。

営業技術

あらゆる機械や装置をさまざまに組み合わせ、お客様の求める生産ラインを構築・提案。技術の面から、営業活動を効果的に支援する職種です。

社内SE (システムエンジニア)

資材調達や貿易管理、受注処理など多岐にわたる社内システムの企画、開発、運用、保守を担い、システム面から業務改革を推進する職種です。

公式ホームページ



様々な職種や
先輩社員たちの声
をご紹介します。

株式会社イシダ

管理本部 総務人事部人事課

E-mail: ishida@s.axol.jp (全国共通連絡先)

英語力を活かしたい

人に向く海外営業

イシダの 職種紹介

現地のイシダの子会社や代理店とともに営業活動を行う部署です。

海外営業とは

世界各地に広がる100ヶ国以上の

ネットワークを活用し、

現地と日本の技術者をつないで

製品をカスタマイズし、

お客様の求める製品を

お届けする仕事です。

藤岡さんの強みは

積極的にお客さまとコミュニケーションをとり、お客さまが日本に来られた時のための関係性を築き上げられることです。

「アジアでは何よりもスピード感が求められます。なので、お客さまとのやり取りは、電話とメールとSNSを駆使しています」。



お客様の笑顔が 好き。だから イシダが 気に入ってます



1893年創業、127年を迎えたイシダ。世界の産業技術の発展に貢献してきた「はかり」をベースに、さまざまな製品やシステムを手掛けている。

たとえば、誰もが知っている柿の種。「種」と「ピーナッツ」が1つの袋に同じ割合で入っているのは、イシダの「組み合わせ計量機」のおかげだ。1972年に開発され大ヒットしたこの計量機は、今や世界シェア50%、国内シェア75%を誇る主力製品となっている。世界でこれだけのシェアを保持できているのはいくつか理由がある。1つは世界各地にイシダの子会社がある。定期的なメンテナンスや機械のトラブルがあった際の修理などに即対応ができること。もう1つは現地と日本の技術者をつなぐ海外営業の存在だ。2016年入社、海外産機アジア部販社営業課の藤岡桃子さんは武庫川女子大学の英語文化学科出身。高校と大学の頃に海外へ留学した経験から、海外での営業ができる企業に狙いを定めて就活を始め、採用面接の時点でアジア営業への部署配属がほぼ決定したイシダに入社した。

「製品そのものだけを納品して終わりなら代理店でもできるのですが、難しいのは複数の製品をつなげたラインもの。現地と、日本の技術者をつないでうまくカスタマイズさせるのが、私の役目です」と藤岡さんは話す。

例えば、スピード向上を目的とした顧客と交渉して、計量する商品のサンプルを持ち帰り、日本で技術者と共に何回もトライアルする。そうして導いた解決策を機械に施し、現地に機械を運んで実演。見事に顧客の要望を達成

し、無事導入を決めてもらえた。「問題が解決したとき、お客様が本気で喜んでくれるのが嬉しいです。私もお客様に喜んでもらいたいから、いろんなアイデアを出して準備します」。

藤岡さんが大切にしている言葉は「やらないで後悔するよりも、やって後悔するほうが学びがある」。海外の顧客との会話は英語。「間違っているかもしれない」と尻込みしてじっとしているよりも、まずは飛び込むことで、新たな課題を見つけ、成長できる。英語がそこまで堪能でなくとも「伝えようとする熱意」があればコミュニケーションはとれるので、興味のある方はぜひチャレンジしてほしい。

日本人ならではの
ホスピタリティや、
お客さまとの距離を縮める
コミュニケーションで、
お客さまを
ハッピーにすることは
誰にも負けません！

